

次年度開始する取組の提案

プラスチック問題については、県民、企業、観光客などへの周知や意識を高めることがとても重要であり、同問題の県民等への普及啓発や環境教育による意識高揚を図り、沖縄らしい新しいライフスタイルへ転換することを目指すため、次の項目から次年度に開始できるものを検討したい。

① 県民や民間のアイデア、既存の取組について一般公募する。

県民等へプラスチック問題やその対策に取組むことを周知し、またすでに県民等が取り組んでいることやアイデアを募集し、提言への参考とする。

関連する提言たたき台：Ⅲの3の(2)の②、
Ⅲの4の(2)の②

② 取組における「キャッチフレーズ」を一般公募する。

県民等へプラスチック問題を周知し意識を高め、また今後の対策に取り組む事項の発信力強化を図るため、キャッチフレーズを募集する。

関連する提言たたき台：Ⅲの4の(2)の③

③ 教育委員会との調整

小中高校生へプラスチック問題を周知し意識を高めるため、環境教育の体制構築に向けた連携を開始する。

関連する提言たたき台：Ⅱの1の(2)の①、②、③、
Ⅲの3の(2)の③

④ 沖縄県地域環境センターとの調整

小中高校生、県民、企業などへプラスチック問題を周知し意識を高めるため、環境教育の体制構築に向けた連携を開始する。

関連する提言たたき台：Ⅱの1の(2)の①、②、③、⑤、
Ⅱの2の(2)の①、
Ⅲの3の(2)の③

⑤ 新しいライフスタイルや消費のあり方の検討

沖縄の素材を利用した代替製品の普及に向けた取組として、木材や布類などの素材を提供している団体や素材を活用した製品を製造している団体などへの調査、協力依頼、調整を開始する。

関連する提言たたき台：Ⅲの1の(2)の①、②、③、④、⑥

⑥ 経済団体、NPO 法人等への調整

企業、NPO 法人等とプラスチック問題の対策について連携した取組を図るため、県の考えについて周知するなど調整を開始する。

関連する提言たたき台：Ⅲの5の(2)の④、⑤

⑦ 国際通りへの給水スポット設置

プラスチック問題対策のモデル事業として位置づけ、国際通り会、県の観光部局、観光業界と調整を開始し、課題の洗い出しをおこない今後の施策の参考とする。

関連する提言たたき台：Ⅲの1の(2)の②、③